

# フジウツギ

*Buddleja japonica* Hemsl.  
ゴマノハグサ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】－

## 選定理由

県内では稀産種で、現在知られている生育地は1地点のみである。

## 分 布

本州、四国に分布する。県内では嶺南地方で確認される。

## 種の特徴

山地の崩壊地や川原等に生育する落葉低木。樹高1.5m。枝に翼状の4稜がある。葉は単葉で対生。葉身は披針形～卵状披針形。葉の表面は緑色、裏面は淡緑色。裏面に毛が多い。葉縁は歯牙または全縁。枝先に垂れ下がった円錐花序を出し、赤紫色の花を多数つける。

## 生育を脅かす要因

産地局限、山地・川原の開発が生育を脅かす。

参考文献 奥田重俊編（1997）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
		○															

# ミソガワソウ

*Nepeta subsessilis* Maxim.  
シソ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：－

【環境省カテゴリー】－

## 選定理由

生育地、個体数とも極めて少ない。

## 分 布

北海道、本州、四国に分布。県内では嶺北地方の一部及び嶺南地方の一部で確認されている。

## 種の特徴

亜高山の草原に生える多年草。茎は直立し、高さ50～100cm、細毛がある。葉は対生し、長さ6～14cm、幅2.5～8cm、両面にまばらに毛があり、2～10mmの葉柄がある。7～8月頃、密な花穂を頂生し、花冠は長さ25～30mm、唇形で、ふつう紫色、まれに白色。

## 生育を脅かす要因

産地が限られていることによる。

参考文献 佐竹義輔ほか（1981）、福井県自然保護課編（2004）  
福井県植物研究会（1997）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○															○	

# シソバツナミ

*Scutellaria laeteviolacea* Koidz.  
シソ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：－

【環境省カテゴリー】－

## 選定理由

森林伐採等による生育環境の消失や悪化により減少している。

## 分 布

本州（福島県以西）～九州に分布。県内では嶺北地方の一部で確認されている。

## 種の特徴

山地のやや湿った林内に生える多年草。根茎は細くて横に這い、茎は直立し高さ5～15cm、稜上には上向きに曲がった毛がある。葉は2～4対あり、長さ1.5～4cm、幅1～2.5cm、先の方に曲がった毛が両面に生える。5～6月頃、1～6cmの花序に紫色の花が付く。

## 生育を脅かす要因

森林伐採等による生育環境の消失や悪化のほか、産地が限られていることによる。

参考文献 佐竹義輔ほか（1981）、福井県自然保護課編（2004）  
福井県植物研究会（1998）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
							○		○						○	○	